



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月31日

上場会社名 日亜鋼業株式会社 上場取引所 東
コード番号 5658 URL <https://www.nichiasteel.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 利典
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 沖垣 佳宏 (TEL) 06-6416-1021
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	25,663	△0.8	1,110	16.6	1,638	18.0	748	△4.6
2024年3月期第3四半期	25,861	1.9	952	△31.1	1,388	△22.8	784	△22.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 708百万円(△74.7%) 2024年3月期第3四半期 2,807百万円(88.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	15.75	—
2024年3月期第3四半期	16.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	73,614	55,400	70.3
2024年3月期	73,605	55,337	70.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 51,787百万円 2024年3月期 51,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
2025年3月期	—	4.00	—		
2025年3月期(予想)				6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	36,500	5.8	1,700	27.3	2,200	3.5	1,150	△8.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	51,755,478株	2024年3月期	51,755,478株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	4,470,151株	2024年3月期	4,017,273株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	47,499,555株	2024年3月期3Q	48,161,040株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、地政学的リスク、中国や欧米の景気動向、為替相場等の複合的な要因が相俟って、先行きの不透明な状況が続きました。

線材加工製品業界においては、普通線材製品でフェンス向けや電力向けを中心に需要低迷が続きました。特殊線材製品では、完成車メーカーの品質認証問題等の影響を受けた自動車向けに加え、プロジェクト案件が減少した電力通信向けの需要が振るいませんでした。鉚螺線材製品については、人手不足及び建設費高騰等の影響を受けた建築物の停滞により需要が減少しました。

一方で、コスト面では、主副原料価格の上昇に加え、物流費やエネルギー費、人件費等が増加しました。

このような事業環境の中、当社グループは、これらのコスト上昇に対する販価転嫁をはじめ、輸入針金代替需要の獲得、鋼索の拡販等による販売数量確保、さらにコスト低減対策等を積極的に推進しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、販売数量の減少により25,663百万円と前年同期に比べ197百万円(△0.8%)の減収となりましたが、利益面においては、販売価格改善及び在庫評価差等の増益要因が諸コスト上昇及び販売数量減等の減益要因を上回ったことにより、営業利益は1,110百万円と前年同期に比べ157百万円(16.6%)の増益、経常利益は1,638百万円と前年同期に比べ250百万円(18.0%)の増益となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ解体撤去引当金繰入額及び固定資産除却損等の特別損失が増加したことにより、748百万円と前年同期に比べ36百万円(△4.6%)の減益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

また、セグメント利益は、営業利益ベースの数値であります。

普通線材製品

普通線材を素材とした各種めっき鉄線、また、めっき鉄線を素線とした加工製品からなり、公共土木向けのかご、落石防護網及び民間向けを含めた各種フェンス等に使用されております。

売上高は、主副原料価格及び物流・エネルギーコスト等の上昇に対する販売価格改善の一方で、販売数量が減少したことにより、6,973百万円と前年同期に比べ56百万円(△0.8%)の減収となりました。

営業利益は、販価改善及び在庫評価差等の増益要因が、諸コスト上昇及び販売数量減等の減益要因を上回ったことにより、272百万円と前年同期に比べ121百万円(80.3%)の増益となりました。

特殊線材製品

特殊線材を素材とした硬鋼線、各種めっき鋼線、鋼平線、鋼より線、鋼索等からなり、自動車向け、電力通信向け及び公共土木向け等、多岐に渡って使用されております。

売上高は、主副原料価格及び物流・エネルギーコスト等の上昇に対する販売価格改善の一方で、販売数量が減少したことにより、12,677百万円と前年同期に比べ121百万円(△0.9%)の減収となりました。

営業利益は、販価改善及び在庫評価差等の増益要因が、諸コスト上昇及び販売数量減等の減益要因を上回ったことにより、275百万円と前年同期に比べ82百万円(43.0%)の増益となりました。

鉚螺線材製品

鉚螺線材を素材としたトルシア形高力ボルト、六角高力ボルト及びG Nボルト等からなり、主として建築向けに使用されております。

売上高は、販売数量減少の一方で、主原料価格及び物流・エネルギーコスト等の上昇に対する販売価格の改善により、5,507百万円と前年同期に比べ14百万円(0.3%)の増収となりました。

営業利益は、諸コスト上昇及び販売数量減等の減益要因が、販価改善及び在庫評価差等の増益要因を上回ったことにより、475百万円と前年同期に比べ48百万円(△9.2%)の減益となりました。

不動産賃貸

主に賃貸用不動産を所有・経営しております。

売上高は123百万円と前年同期に比べほぼ横這いとなりました。

営業利益は75百万円と前年同期に比べ2百万円(2.9%)の増益となりました。

その他

めっき受託加工等の売上高は 百万円と前年同期に比べ 百万円(△ %)の減収となりました。

営業利益は、11百万円と前年同期に比べ1百万円(14.5%)の増益となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は73,614百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円の増加となりました。流動資産は36,411百万円となり、前連結会計年度末に比べ116百万円の増加となりました。これは主に棚卸資産の増加によるものです。固定資産は37,203百万円となり、前連結会計年度末に比べ106百万円の減少となりました。これは主に投資有価証券の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は18,214百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円の減少となりました。流動負債は11,615百万円となり、前連結会計年度末に比べ352百万円の増加となりました。これは主に電子記録債務の増加によるものです。固定負債は6,599百万円となり、前連結会計年度末に比べ405百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は55,400百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は70.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2024年5月14日に発表いたしました業績予想からの変更はありません。なお、実際の業績は、需要業界の活動水準や主副原料及びエネルギー等の価格動向などの様々な要因により、予想数値と異なる場合がありますことをご承知置きください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,455,846	11,430,797
受取手形及び売掛金	6,647,284	6,348,641
電子記録債権	5,681,354	5,837,138
有価証券	202,306	503,322
製品	6,646,109	7,035,775
仕掛品	1,308,033	1,379,505
原材料及び貯蔵品	3,093,096	3,506,012
その他	266,518	375,621
貸倒引当金	△5,609	△5,663
流動資産合計	36,294,939	36,411,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,471,206	3,423,624
機械装置及び運搬具（純額）	3,035,654	3,543,686
土地	9,003,482	9,003,482
建設仮勘定	525,498	258,869
その他（純額）	204,513	197,129
有形固定資産合計	16,240,355	16,426,792
無形固定資産		
ソフトウェア	41,738	73,443
ソフトウェア仮勘定	43,480	240,545
その他	2,971	2,946
無形固定資産合計	88,190	316,935
投資その他の資産		
投資有価証券	19,159,944	18,606,308
長期貸付金	8,989	7,540
退職給付に係る資産	422,585	438,998
繰延税金資産	1,036	1,036
その他	1,417,988	1,434,852
貸倒引当金	△28,830	△28,830
投資その他の資産合計	20,981,715	20,459,906
固定資産合計	37,310,261	37,203,634
資産合計	73,605,200	73,614,784

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,151,396	2,314,909
電子記録債務	3,634,920	5,129,546
短期借入金	750,000	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	1,280,000	900,000
未払金	931,898	925,109
未払法人税等	422,669	108,110
賞与引当金	339,008	98,163
解体撤去引当金	—	295,300
災害損失引当金	3,470	—
その他	749,784	594,031
流動負債合計	11,263,148	11,615,169
固定負債		
長期借入金	2,110,000	1,630,000
繰延税金負債	2,520,701	2,461,839
役員退職慰労引当金	181,481	201,910
退職給付に係る負債	2,129,495	2,243,456
その他	62,545	61,980
固定負債合計	7,004,223	6,599,187
負債合計	18,267,372	18,214,357
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,720,068	10,720,068
資本剰余金	10,888,051	10,888,051
利益剰余金	25,523,331	25,795,358
自己株式	△1,232,269	△1,373,066
株主資本合計	45,899,181	46,030,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,492,889	5,371,402
為替換算調整勘定	259,099	263,104
退職給付に係る調整累計額	140,205	122,998
その他の包括利益累計額合計	5,892,194	5,757,505
非支配株主持分	3,546,452	3,612,510
純資産合計	55,337,828	55,400,427
負債純資産合計	73,605,200	73,614,784

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	25,861,300	25,663,623
売上原価	21,463,688	20,983,155
売上総利益	4,397,612	4,680,467
販売費及び一般管理費	3,445,222	3,570,160
営業利益	952,389	1,110,306
営業外収益		
受取利息	113,669	114,133
受取配当金	322,479	352,170
有価証券売却益	—	26,013
有価証券償還益	—	24,000
太陽光売電収入	46,777	41,729
為替差益	29,004	29,396
雑収入	60,132	48,340
営業外収益合計	572,063	635,784
営業外費用		
支払利息	17,188	10,628
持分法による投資損失	95,433	78,358
太陽光売電原価	17,209	15,727
雑支出	6,158	2,795
営業外費用合計	135,989	107,510
経常利益	1,388,464	1,638,581
特別利益		
固定資産売却益	138	518
投資有価証券売却益	8,470	—
災害による保険金収入	19,778	—
特別利益合計	28,387	518
特別損失		
固定資産除却損	18,024	74,218
固定資産売却損	—	713
災害による損失	18,019	—
解体撤去引当金繰入額	—	295,300
特別損失合計	36,043	370,232
税金等調整前四半期純利益	1,380,808	1,268,867
法人税等	473,461	434,719
四半期純利益	907,346	834,147
非支配株主に帰属する四半期純利益	123,175	86,139
親会社株主に帰属する四半期純利益	784,170	748,008

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	907,346	834,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,848,662	△117,737
為替換算調整勘定	48,178	15,093
退職給付に係る調整額	△3,018	△18,252
持分法適用会社に対する持分相当額	5,860	△4,419
その他の包括利益合計	1,899,683	△125,314
四半期包括利益	2,807,030	708,832
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,659,787	613,319
非支配株主に係る四半期包括利益	147,242	95,513

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間 自 年4月1日 至 年 月 日

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

単位：千円

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 注 3
	普通線材 製品	特殊線材 製品	鋁螺線材 製品	不動産 賃貸	計				
売上高									
外部顧客への売上高	7,017,575	12,776,360	5,492,904	123,241	25,410,082	451,218	25,861,300	—	25,861,300
セグメント間の 内部売上高又は振替高	12,344	22,445	—	—	34,789	—	34,789	△34,789	—
計	7,029,920	12,798,805	5,492,904	123,241	25,444,871	451,218	25,896,090	△34,789	25,861,300
セグメント利益	151,089	192,715	524,158	73,454	941,417	9,851	951,269	1,119	952,389

注 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、めっき受託加工等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 自 年4月1日 至 年 月 日

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

単位：千円

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 注 3
	普通線材 製品	特殊線材 製品	鋁螺線材 製品	不動産 賃貸	計				
売上高									
外部顧客への売上高	6,958,370	12,637,389	5,507,796	123,134	25,226,691	436,931	25,663,623	—	25,663,623
セグメント間の 内部売上高又は振替高	15,285	39,919	—	—	55,204	—	55,204	△55,204	—
計	6,973,656	12,677,308	5,507,796	123,134	25,281,896	436,931	25,718,828	△55,204	25,663,623
セグメント利益	272,341	275,592	475,964	75,597	1,099,497	11,282	1,110,779	△472	1,110,306

注 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、めっき受託加工等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 自 年4月1日 至 年 月 日	当第3四半期連結累計期間 自 年4月1日 至 年 月 日
減価償却費	千円	千円